森林が生み出すエネルギー

「木材が新エネルギーに変わる ことへの期待は大きい」

「どれぐらいの発電量が確保できるのか」「木の種類は何でもOKか」。十月下旬、出雲市小境町の市東部工業団地内。同市高浜地区からやってきた見学者は、高さ二十五メートルの鉄の塊「ブルータワー」にくぎ付けになり、矢継ぎ早に質問した。

タワーの正体は、四月に火がともった木質バイオマスが原料の発電装置「出雲バイオマスエネルギープラント」。環境にやさしい新エネルギーとして注目を浴びるとともに、荒廃した森林再生にも活路を開く可能性も秘める。

同プラントは、特殊土木建設業のライト工業（東京都）が整備。環境先進都市の創造を目指す出雲市や、出雲市環境と経済の好循環のまちづくり協議会が、国の交付金を受けて二〇〇四年度から支援している。

見学者の質問に答えていた同工業の森下茂雄環境企画室課長によると、ブルータワーの発電能力は一時間四十七キロワット。木質チップをガス化し、ガスエンジンで発電する仕組みで、住民から提供される庭木の剪定（せんてい）木が原料となる。

売電はもちろん、特徴はガス化の中で精製する水素。「将来、訪れるといわれる水素エネルギー社会の到来に備え、安定供給の道を実証するのも重要な狙い」と森下課長は話し、自動車や船舶への利活用をにらむ。

石油、石炭の化石燃料に依存しないエネルギー源の確保は、温暖化防止につながる先駆的な取り組み。プラントを後押しする出雲市産業誘致課の岡利行誘致係長は「木材が新エネルギーという付加価値に変わることへの期待は大きい」と話す。

木がクリーンなエネルギーを生み出す原料となれば、採算性の悪化から減退している森林所有者の生産活動の活性化に結び付く。森林は新たな雇用を生んで整備が行き届き、多面的機能を取り戻す一助になるかもしれない。

水素社会の到来までには、課題も山積する。現状では水素製造設備や利用機器、設備のコスト面。国民への啓発活動も不可欠だ。ガソリンスタンドのように、水素エネルギーを供給できるインフラ整備も必要になる。

事業化には最低でも出雲市のプラントの十倍の規模が必要だが、森下課長は「環境問題を考えると、水素社会は必ず来る」と展望。同プラントは本年度中に水素精製を安定化させ、発電も行って実用化への第一歩を刻む。

ブルータワーの上から紅葉の始まった北山山系を見下ろす森下課長。その目には、新時代のエネルギー時代の到来と、支える資源として輝きを取り戻す森林の姿が映っているのかもしれない。

木質バイオマスを活用した発電を行う出雲バイオマスエネルギープラント＝出雲市小境町、市東部工業団地

運び込まれた柿の木の剪定（せんてい）枝と、チップ化する破砕機＝出雲市小境町、市東部工業団地

出雲ルポ

森林豆知識

バイオマスエネルギー

バイオマスは、エネルギー資源として再利用可能な生物由来の資源で、木くずや家畜の排せつ物、食品廃棄物などがある。中でも木材は身近なバイオマスの一つとして知られ、廃材や間伐材などは「木質バイオマス」と言われる。

バイオマスエネルギーは、バイオマスを燃焼させたり発酵させたりすることで得られるエネルギー。枯渇する化石燃料への依存を減らす手段として、また、環境保全の面からも注目されている。供給量や経済性の面などの課題もあるが、未利用の資源や廃棄物が活用され、持続的に利用できる資源として注目されている。

この特集は14回シリーズで掲載します

企画・山陰中央新報社

コラム

立松和平（作家）

古事の森へ

法隆寺の材は整然と組み合わされているばかりではない。「木なり」に材を使うという自然観が基本であるから、回廊の連子柄子などは、よくよく見れば不揃いである。見た目の美しさより、建物の強度を重視した結果である。

私は五重塔の屋根に登ったことがある。お祭りの幡を下げるためである。外観からは一階から五階まで整然と重なっている五重塔であるのだが、二階から上は自然の森の中に迷い込んだような具合で混沌としてくる。埃だらけの柱にしがみつき、よじ登り、たっぷりと冒険心を味わった頃、天井に頭がつかえる。つかえた銅板を押して開くと、五重塔の屋根にでているというわけである。

法隆寺は人の手によってつくられた豪壮な建築であるが、自然の摂理を守り、自然に一歩でも近づこうとする人の意思が感じられるのである。

よい材をふんだんに使って匠たちが建築したのが法隆寺であることは間違いないにせよ、それだけで千三百年の歳月を生き延びてきたのではない。毎日毎日の断えざるメンテナンスがあったのである。

雨が洩ってくれば、古材を使ってただちに直す。このことによって、古代の匠の仕事を知ることができる。法隆寺のメンテナンスをするということは、生きた教材にそのまま学ぶということだ。

時には瓦屋根の下の根板の取り換え工事をしなければならない。小さい修理は数知れずである。昭和の修理では五重塔の心柱の基部を取りかえた。その前の大修理は、そこから約三百年前の元禄の大修理である。この大修理には、柱を取り換えたりする工事も入る。法隆寺の柱は四つ割りであり、これへのこだわりが、千三百年もの歳月を超えてきたのである。

この法隆寺の伽藍を守っていくためには、この大修理に供給することのできる材が必要なのである。日本の木造文化を守るためには、意識的な造材が必要だと考え、私たちは「古事の森」と称する森づくりをはじめたのである。もちろん守らなければならないのは法隆寺ばかりではなく、祖先が残してくれたすべての木造文化である。

その根底をなしているのが森なのだ。

〈次回コラム（11月19日掲載）は、植物生態学者・宮脇昭さんのインタビューを掲載します〉

プロフィール

立松和平（たてまつ・わへい）　1947年栃木県生まれ。早稲田大学在学中に「自転車」で早稲田文学新人賞。宇都宮市役所勤務後、79年から文筆活動に専念。80年「遠雷」で野間文芸新人賞、97年「毒―風聞・田中正造」で毎日出版文化賞。最近の小説に「奇蹟―風聞・天草四郎」「軍曹かく戦わず」がある。エッセイ、絵本も手がける。

森林保全活動レポート その⑭

地元の山の幸にこだわって半世紀。自然を大切にするから続く、盛大な食事会です。

今回の森林保全活動レポートその⑭に登場する

財団法人 南部町地域振興会

森がもたらした恵みを大切にするため、年間200人の生徒を集めて林間学校をひらいたり、鳥取県内の森林ボランティアと連携して植樹活動などをおこなっています。

連絡先は
〒683-0343
鳥取県西伯郡南部町
下中谷606
緑水園 高橋副支配人まで
TEL.0859-66-5111
FAX.0859-66-5112
ホームページ
http://www.town.nanbu.tottori.jp/ryokusuiko/

プレゼント

山陰の間伐材を利用した紙容器入り **ドリンク プレゼント**

連載しています特集・広告に関するご意見等を郵便またはFAXで募集しています。抽選で20名様に「間伐材を利用した紙容器入りの飲料」（提供ボッカコーポレーション／250ml入り・24本）をプレゼントします。ご意見をお送りいただく際にお名前、郵便番号、ご住所をご記入ください。締め切りは11月30日消印有効。なお当選者の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。
※ご記入いただいた個人情報はプレゼントの発送のみに使用させていただきます。

〒690－0062　松江市魚町10 山陰合同銀行 地域振興部内
「森林を守ろう！山陰ネットワーク会議」プレゼント係
TEL.0852-55-1820 FAX.0852-28-0495

豊かな緑を子どもたちの未来へ！

森林を守ろう！山陰ネットワーク会議

山陰の森林に関する活動を展開しているNPO法人やボランティア団体を中心にネットワークを構築し、森林保全の輪を広げる活動を展開します。

鳥取県南部町で毎年5月と10月に開かれる「山菜会」は、
地元でとれる山の幸にこだわった逸品ぞろい。
その味の良さが評判をよび、この秋で93回目を迎える恒例行事となっています。
「昔から大切にされてきた自然があるからこそ、毎回400人近いお客様に
喜んでいただける食材を提供できるんです。
また、今年はキノコが豊作だったので、26品あるメニューのうち、
11品に取り入れるなど、その時期の特徴をふまえてうまくとりいれているのも
人気の理由です。」
司会や接客で大忙しの南部町地域振興会の高橋さんは、
にこやかに語ってくれました。

南部町の特産である豆腐やイチジク、ワインなども、地元の加工センターの方々により販売されました。

キノコやクリ、コイやアユなどをぜいたくに使用した料理の数々。

森林を守ろう！山陰ネットワーク会議 参加団体のみなさん（9月20日現在）
※50音順

鳥取県
NPO法人　賀露　おやじの会（鳥取市）
NPO法人　サカズキネット（倉吉市）
NPO法人　とっとり希望化計画21（鳥取市）
広葉樹文化協会（鳥取市）
財団法人　南部町地域振興会（南部町）
杉の雫・吟醸の会（智頭町）
大山横手道上ブナを育成する会（米子市）
鳥取県木造住宅推進協議会西部支部（米子市）
鳥取市女性の森グループ（鳥取市）
トトリネット（米子市）
日野川の源流と流域を守る会（日野町）
丸山生産森林組合（伯耆町）
三朝温泉かじか蛙保存研究会（三朝町）
森っ子倶楽部（鳥取市）

島根県
出雲市林業振興協議会（出雲市）
NPO法人　緑と水の連絡会議（大田市）
NPO法人　もりふれ倶楽部（松江市）
源流の森里山づくり（邑南町）
財団法人　島根県西部山村振興財団（浜田市）
里山を育てる会（松江市）
しまねフォレスト・ネットワーク出雲（出雲市）
薪ストーブ同好会（松江市）
松江ネイチャーゲームの会（松江市）
木質バイオマスエネルギー地産地消ネットワーク（松江市）
森の仲間（出雲市）
遊木民倶楽部（益田市）

特別協賛
山陰中央新報社
新日本海新聞社

特別協力
凸版印刷株式会社

この広告に関するお問い合わせは事務局まで
山陰合同銀行 地域振興部内
島根県松江市魚町10 〒690-0062
TEL.0852-55-1820

みんなで森を守ろう！